「人間と教育」　特集タイトルの一覧

2018年11月

No	発行年月	特集Ⅰ	特集Ⅱ	編集長	インタビュー	エッセイ	エッセイ	海外教育事情	震災と教育	文化と教育	地域と大学	いま、教室で	小論	地域教育研究所
1	1994年3月	子ども・青年の世界に迫る		三上昭彦										
2	1994年6月	現代社会と学力・教養												
3	1994年9月	多様化と共通教養－中等教育改革の課題	「子どもの権利条約」から子どもをみる											
4	1994年12月	90年代の教育政策を問う	「企業社会」下の地域と学校の現実		オーバービー　憲法九条を世界に広める									
5	1995年3月	国際理解と平和・人権教育	アジアから見た日本の現在											
6	1995年6月	授業改革の問題点		太田政男										
7	1995年9月	現代のいじめ			齋藤学　共依存の人間関係といじめ									
8	1995年12月	「人間教師」を問い直す	現代の不安と癒やし		山田太一　現代の不安と癒し									
9	1996年3月	学校は何をするところか	地域をつくる・文化をつくる		高橋治　日本人の文化と自然									
10	1996年6月	自然・環境は教育を問う			宮崎駿　子どもにはアニメより自然を									
11	1996年9月	「学び」の転換から「教え」の創造へ			落合恵子　「女・子ども」の視点から									
12	1996年12月	教育政策－批判と創造			米沢富美子　科学者の目・女性の目									
13	1997年3月	家族の揺らぎと子ども			生野照子　新しい家族の子ども像									
14	1997年6月	子どもの世界を読み解く			岸田今日子　自分が好きなことを見つける									
15	1997年9月	地域から草の根からの教育改革			網野善彦　歴史を学ぶ面白さ									
16	1997年12月	いのち・人間を教える			窪島誠一郎　無言の絵はいのちを語る									
17	1998年3月	学校をひらく			ヤドランカ　歌よ、サラエボの空まで									
18	1998年6月	子どもとつくるカリキュラム			森まゆみ　まちの文化と歴史をつくる									
19	1998年9月	中学校の困難と希望			灰谷健次郎　「優しさ」はいのちのつながり									
20	1998年12月	jジェンダーから教育を問う			中谷健太郎　人を結う湯布院									
21	1999年3月	学習指導要領にいどむ	父親はなぜ追いつめられたか		大石芳野　レンズを通して見る世界									
22	1999年6月	「戦争論」の向こうに見える若者たち	大学改革の焦点		野田正彰　戦争を知る、「悲しむ力」を取り戻す									
23	1999年9月	学校選択から参加へ	荒れる学校と新しい管理主義		辺見庸　学校の「閉域」を破る									
24	1999年12月	受け入れること・指導すること	カウンセリングを巡って　「日の丸・君が代」問題		福留脩文　近自然川をつくる									
25	2000年3月	世界の中の日本	高卒労働市場をめぐって　「日の丸・君が代」問題		中村紘子　ピアノが拓く世界、ピアノで描く世界									
26	2000年6月	子どもにとっての自然・環境			畠山重篤　森は海の恋人									
27	2000年9月	学校づくりと地域づくり	少年事件と少年法改正		大田昌秀　沖縄の心を世界に									
28	2000年12月	子どもの事件から考える			辛淑玉　男は降参しなさい									
29	2001年3月	総批判・教育改革国民会議			－									
30	2001年6月	メディアとＩＴと子どもたち	教科書をめぐる動き		内山節　山里の自然と暮らしから									
31	2001年9月	教師として生きる		梅原利夫	高野悦子　映画と歩む人生									
32	2001年12月	教育改革の検証												
33	2002年3月	学力問題に挑む	テロ・報復戦争と人間教育											
34	2002年6月	こども・青年と未来をつくる	「働くこと」を学ぶ											
35	2002年9月	激変一学期	関西地域での教育研究		対談　非行を向き合い，人間同士が変わる　春野かすみ／梅原利夫									
36	2002年12月	教育実践のゆくえ－論争と課題			対談　土佐の教育改革　二期目の挑戦　大崎博澄／浦野東洋一									
37	2003年3月	危機に立つ教育基本法			対談　ＨＩＶの激増と対峙しうる性教育　木原正博／橋本紀子									
38	2003年6月	教科書の一年とこれから	これでいいのか英語教育		対談　私たち子どもの声も聞いてよ　水木望／池田加奈／糀谷陽子									
39	2003年9月	ストレス過多の子育てとおとな育ち			対談　子ども・おとなの生きづらさを問う　横湯園子／片岡洋子									
40	2003年12月	戦争と教育			対談　苦しみへの共感から未来への希望を　池田香代子／堀尾輝久									
41	2004年3月	子ども・教師・学校評価を問う	七生養護学校の「こころとからだの学習」		対談　91歳現役保育者と語る　広岡キミエ／八木英二									
42	2004年6月	学校統廃合とたたかう	七生養護学校の「こころとからだの学習」		対談　自然の愛、イラクの哀しみと交信して　池澤夏樹／太田政男									
43	2004年9月	大学はどこへ向かう			対談　学術の国際動向と大学の法人化　吉川弘之／堀尾輝久									
44	2004年12月	教師のつらさと生きがい			対談　日本と韓国の歴史教育をめぐって　宮原武夫／君島和彦									
45	2005年3月	「改悪反対、生かそう憲法と教育基本法」			上原公子　「人がつながって、生命輝くまち」をめざして									
46	2005年6月	公教育を担う私立学校			寺内義和　私学の運動に取り組んできて									
47	2005年9月	「学力低下論」の向こうへ		小	田中夏子　人間が大事にされる働き方／暮らし方									
48	2005年12月	アジアの中の日本－韓流ブームを手がかりに	教師の子ども理解		高田哲郎・藤田健一　秩父の歴史と文化を語る									
49	2006年3月	子どもの発達研究・最前線	教育実践にみる子どもの発達											

50	2006年6月	戦後教育、どう総括するか		島喜孝										
51	2006年9月	義務教育の構造改革	教基法国会審議の論点と課題											
52	2006年12月	いま、なぜ平和教育なのか－歴史的検証と展望	思春期－子どもの尊厳を取り戻す 国歌斉唱義務不存在確認等請求訴訟		対談　現代世界と人権論の再構築　小林直樹／堀尾輝久									
53	2007年3月	私たちの校長論	教育課程と民主主義											
54	2007年6月	階層化の下での子どもと教育	教育再生会議批判	佐貫浩										
55	2007年9月	なぜ教育は困難の中にあるのか－教育再生会議批判	学力テストは何をもたらすか											
56	2007年12月	教育に浸透する国家	特別支援教育											
57	2008年3月	新学習指導要領批判	農の文化・農を生かす											
58	2008年6月	地球温暖化問題と教育	教師の自由再考		宮本憲一　地域の自治に立脚して維持可能な21世紀世界を作る									
59	2008年9月	コミュニケーションと表現	教員免許更新制講習の問題点											
60	2008年12月	戦後教育史の再考	教師論の課題		対談　戦後教育運動の希望を受け継ぐ　大田堯／堀尾輝久									
61	2009年3月	学校の格差的再編と統廃合	貧困と教育		醍醐聡　地域の現実に取り組む中から日本の明日を切り拓く									
62	2009年6月	表現をとおして自分を拓く	道徳教育論の今日的課題											
63	2009年9月	教員管理の新段階	ジェンダーと現代の貧困		対談　文化の多様性と平和　堀尾輝久／服部英二									
64	2009年12月	世界と子どもの生活に平和を拓く	政治変動と教育		堤未果　アメリカの新自由主義と貧困									
65	2010年3月	生存権としての教育	堀尾教育学の継承をめぐって		座談会　民研18年のあゆみと今後の課題									
66	2010年6月	地域再生と教育	若い教師の授業探求　教員養成制度をどうするか											
67	2010年9月	改訂教育基本法をどう見るか	現代日本の教育の課題と民主教育研究所	神山正弘	市川須美子　現行教育基本法にどう向かい合うか									
68	2010年12月	子どもの権利条約と日本の教育	戦後教育学理論への批判と継承											
69	2011年3月	今なぜ教科書問題か	小中一貫問題を問う											
70	2011年6月	自然･地域の再生と教育	3.11東日本大震災と教育の課題　公的保育制度の危機と学校教育											
71	2011年9月	やりがいある授業と教育課程づくり												
72	2011年12月	教育政策の20年を問う												
73	2012年3月	東日本大震災と日本の教育	大震災と向き合う教育実践											
74	2012年6月	教育実践研究運動の課題を探る					いま地域で⑳	イギリス④	宮城の教師たち	メディアを読む㉖	ある教師の戦後史⑳	子どもと共に⑯	教育資料情報㉓	
75	2012年9月	どうみる、大阪の教育改革―ファシズムとポピュリズムの間―	民研20周年に寄せて	木村浩則	鎌仲ひとみ　映画作りは“民主主義のエクササイズ”	沖縄の子どもたち		イギリス⑤				高校･和歌山・岡本絵里	マンガ・紙屋高雪	宮城
76	2012年12月	アートが学校を変える			崔善愛　ショパンから学んだこと－在日として生きる				東日本大震災におけるジェンダー平等と教育	芸術文化と子どもの権利条約・大屋寿朗		小学校・神奈川・南康介	マンガ・紙屋高雪	新潟
77	2013年3月	「声をあげる文化」をとりもどす			竹内章郎　ラディカルな新自由主義批判を	2012年選挙		イギリス	〈大川小学校の悲劇〉と〈釜石の奇跡〉をどうとらえるか	子ども劇場・富士川佳奈子		小学校・栃木・福田奈奈	マンガ・紙屋高雪	
78	2103年6月	特別支援教育の今を問う			松元ヒロ　怒りを笑いへ、笑いをメッセージへ	ドイツのエネルギ－政策	本嫌いからのスタート	イギリス	被災地･被ばく地のの学力問題	民舞教育・宮河伸行		中学校・愛知･天崎能孝	マンガ・紙屋高雪	
79	2013年9月	いま歴史にどう向き合うか			三上智恵　弱者の目線に立って権力を監視する	ドイツの脱原発・上原公子	わが町で①小林秀一	イギリス				小学校・熊本・三原旬俊	マンガ・紙屋高雪	高知
80	2013年12月	〈ウニベルシタス〉の崩壊　―今大学に何が起こっているのか―			笹山尚人　弁護士は事実をあぶり出し，突きつけ，勝負する		わが町で・小林秀一	アメリカ	福島から・小林みゆき	平和の文化・堀尾輝久		小学校・大阪・川淵和美	マンガ・紙屋高雪	
81	2014年3月	スクールキャピタリズム　―公教育は誰のものか			高遠菜穂子　すべての基準は“命”	腕を磨く・中村誠一	わが町で・小林秀一	アメリカ				高校・埼玉・新井裕之	マンガ・紙屋高雪	滋賀
82	2014年6月	この国のかたちと教育	東京の教育「改革」		関野吉晴　冒険や挑戦、失敗が許される社会を		わが町で・小林秀一	アメリカ	福島の今・白木次男	遊びの力・北崎圭太		小学校・宮城・佐竹達郎	マンガ・紙屋高雪	群馬
83	2014年9月	センセイの時間	みんな悩んで素敵な教師に		ﾐｻｵ･ﾚｯﾄﾞｳﾙﾌ　意思を「可視化」し「政治化」する	卒業できない教師癖・渡辺礼一	わが町で・小林秀一	アメリカ	エネルギ-教育・大島英樹	アートイベント・群馬・原沢香司			マンガ・紙屋降雪	青森
84	2014年12月	ＰＩＳＡ　―グローバル化する学力競争			北村年子　“いい教師”ではなく、“幸せな教師”になろう		わが町で・小林秀一	アメリカ	東日本大震災の事業・東京・奥田みやま	太鼓集団響とCafé・平野和弘		特別支援学校・渡辺まみ	マンガ・紙屋高雪	沖縄
85	2015年3月	ゼロ・トレランス　　―管理と排除の学校システム			辛淑玉　バカヤロー！と言える子ども、闘える子どもを育てよ		わが町で・小林秀一	アメリカ	くりこま高原自然学校・佐々木豊志			私立高校・畑山幸正	マンガ・紙屋高雪	和歌山
86	2015年6月	こころを支配する国家			中川敬　プラカードの余白を歌いたい	湯川カナ	わが町で・小林秀一	アメリカ	阪神･淡路大震災	舞台芸術鑑賞・ただじゅん		高校・長野・長澤一慶	マンガ・紙屋高雪	奈良
87	2015年9月	戦後70年－いま戦争をどうとらえどう伝えるか			清水真砂子　この世界は生きるに値する	湯川カナ		アメリカ	宮城･4年半・髙橋正行	和太鼓と芝居・東京・末永桂子		中学校・アリティー	マンガ・紙屋高雪	兵庫
88	2015年12月	18歳選挙権と政治教育のゆくえ			奥田知志　本気で“助けて”って言った子をありますか？	湯川カナ		アメリカ	ルポ2015八戸・田村儀則			小学校・北海道・末村哉子	マンガ・紙屋高雪	京都
89	2016年3月	「声を上げる文化」は終わらない			岡野八代　これまでの「不正義」の話をしよう	湯川カナ		フランス	福島原発事故・杉内清吉			小学校・香川・二川綾介	マンガ・紙屋高雪	さいたま
90	2016年6月	「向上」させられる教師	原発事故に向き合い続ける	池谷壽夫	武藤類子　フクシマ・原発災害の刑事責任を東電・政府に問う	湯川カナ		フランス				高校・北海道・浪岡知朗	マンガ・紙屋高雪	大阪
91	2016年9月	アクティブ・ラーニングという呪縛	「子ども支援」とは		小熊英二　「おまかせの国づくり」から「自前の社会づくり」へ	湯川カナ		フランス	熊本地震・仙波達哉	美と数、音楽・坂口博樹		高校・大阪・和井田祐司	マンガ・紙屋高雪	東京
92	2016年12月	子育てクライシス	学校統廃合の今日的状況		落合恵子　私らしく生きることを私たちで支え合う	湯川カナ	いろんな暮らし①穴澤義晴	フランス	岩手沿岸地域・土屋直人	演劇・細淵文雄		小学校･高知・宮川真幸	マンガ・紙屋高雪	岐阜
93	2017年3月	〝自発的従属〟のススメ？　次期学習指導要領	－		中野晃一　個が個のまま互いを尊重し、世界に関わること	湯川カナ	いろんな暮らし②上田假奈代		大川小津波訴訟・三上昭彦		①松本大学・向井健	小学校・加古さやか	マンガ・紙屋高雪	石川
94	2017年6月	暴力･分断の教育から安心･連帯の教育へ	ジェンダーとセクシュアリティの課題と実践		山田正彦　今ここで立ち上がらねば、日本は滅びる	崔善愛	いろんな暮らし③伊藤洋志	ドイツ	避難指示解除・小川憲二	演劇その2・細淵文雄	東北公益文科大学・渡辺暁雄	矯正施設（高校通信制）・長野・下岡英樹	マンガ・紙屋高雪⑳	長野
95	2017年9月	子どもの貧困－子ども・若者支援とその課題	－		西研　受け止め合い、尋ね合いから始めよう	崔善愛		ドイツ	福島・移動教室・小寺隆幸	太鼓集団響・飯島学	公益鳥取環境大学・松浦生	中学校・宮崎県・橋本律子	児童文学・赤木かん子	宮城
96	2017年12月	これからの「学力」を語り合おう	教育で地域づくり、地域おこし		安田菜津紀　害われし人々と世界に寄り添う	崔善愛	いろんな暮らし・吉村明無	ドイツ	熊本地震・仲田陽一	アートフェスタ・大学と地域・木村浩則	ー	小学校・埼玉・中村潤	児童文学・赤木かん子	新潟
97	2018年3月	学校が危ない!?	グローバル新自由主義のもとにおける教育と教員		高橋源一郎　教育とか文化とかって“叔父さん”なんです	崔善愛	いろんな暮らし・石黒好美	ドイツ	いわての学校教育・村上純一	芸術教育とは・山田康彦	ー	中学校・養護教諭・山中聡子	児童文学・赤木かん子	愛知
98	2018年6月	焦点としての「家族」	今日の国家・社会･教育改変にどう対抗するか		坂上香　社会にいかにしてサンクチュアリをつくるか	崔善愛	いろんな暮らし・宮田隼	ドイツ	陸前高田の中学校・松田洋介	芸術と教育をつなぐ・福岡・古賀弥生	ー	幼稚園・神奈川・久保登希子	児童文学・赤木かん子	高知
99	2018年9月	憲法改正と教育	高校新学習指導要領の問題点と課題		尾松亮　言葉の“酸欠状態”を超えていくために	崔善愛	いろんな暮らし・長井岳	ラテンアメリカ	大川小津波訴訟・三上昭彦	子どものあそび・神代洋一	ー	高校定時制・神奈川・岩脇俊文	児童文学・赤木かん子	滋賀
100	2018年12月	今、民主教育に求められるものは何か	－		大田堯　今、教育はどうあるべきか	崔善愛	ー	ラテンアメリカ	ー	差別と戦争をなくすために	ー	高校・埼玉・島津和佳	児童文学・赤木かん子	ー